

日本語の文字（６年）

●指導目標

日本語を書き表すために用いられる文字の由来や特徴に関心を持ち、適切に文字を使い分ける。

（言語事項）

●教材について

文字は、話されるとすぐ消えてしまう音声言語を記録し、保存し、時間をこえて活用できるという優れた特性をもっている。その情報の蓄積は人間だけが持ちうる文化として、日常生活を支え、学問や科学等の進展に絶対無二の寄与してきた。また、人間の生活を豊かにする芸術や創造的な活動は文字なくして、広がりや深まりは創り出し得なかったと言っていい。さらに、人間的な成長を保証する道具として自己表現力や人間理解、人間どうしのかかわりをたしかにするという教育的機能も有している。

このような優れた機能をもっている文字を読んだり書けるようになることは、その国に生まれた者にとって、国民としてのアイデンティティを形成する第一歩として、学校教育の第一義的な価値をもっている。

子供たちは、小学校入学以来、日常よく使われる日本語を表記する道具として４種類の文字を学習してきた。平仮名は１年生、片仮名は１・２年生、ローマ字は４年生、漢字は１～６年生で学習してきており、それぞれの文字を読み書きし、ある程度自由に使えるようになってきている。

これらの文字を読むこと、文字を使って考えるという活動によって、学習や日常生活の場でさまざまな情報を得たり、さまざまな文化や知識を享受したりして、自分の生活を豊かにしてきた。

また、書くという活動をとおして、自己表現力を高めたり、他の人間とのかかわりや自己認識力を高め、心の成長を確かにしてきた。

しかし、これまで、子供たちの文字に対する学習や活動は、それぞればらばらに行われることが多く、その起源や歴史、特徴からくる適切な使い方など、体系的に学習したことがない。そのため、日本語の文字の特性や文字相互の関係、日本語ではなぜ四種の文字が用いられているのかなどについての関心が高いとはいえない。

また、昨今とみに取り沙汰されている言葉の乱れの原因の一つは、日本語の文字に対する正しい認識が育っていないことや自らの言語生活を振り返り、より確かにしようとする心が培われてこなかったことがあげられる。

そこで、ここではまず、ばらばらに学習してきた四種の日本語の文字を、その由来、特徴、適切な使い分け方などで整理し、体系的に学ぶようにしたい。それらの学習をとおして、日本語の文字の豊かさを認識し、自らの言語生活をより豊かにしようとする意欲や態度を育成するようにしたい。

しかし、ここでの学習はあくまでもこれまでの小学校段階の学習を整理し、その概略を体系化することにある。それぞれの文字の由来や使い分け等について、とかく深入りしやすくなる教材ではあるが、それらは個々人の調べ学習や「総合的な学習の時間」等で発展的に取り上げ、中学校での学習へとつなげていくことが望ましいと考える。そこで、次の四点にしばり、学習を組織する。

- １，四種の日本語の文字を表意文字と表音文字という観点で整理学習を組織する。
- ２，四種の文字の由来や成り立ち、特質の概要をまとめる。
- ３，四種の日本語の文字の使い分けについて理解を深める。
- ３，自分の言語生活をふりかえり、文字を正しく使おうとする態度を育成する。

● 学習指導計画（全 3 時間）

展開・時		過程	学 習 活 動	留意点・評価規準及び方法
第 一 次	第 1 時	課題 を つ か む	○ふだんどんな文字を使っているかを確認し，学習課題をもつ。 ・ 漢字，平仮名，片仮名，ローマ字 ○表意文字と表音文字の違いについて理解するとともに，日本語の文字の特徴を見つける。 ○教材文を読み，漢字の由来や特徴を理解する。 ・ 漢字の歴史や成り立ち ・ 漢字の特徴の整理をする。 （音訓，筆順，画数，部首）	○音声言語をいろいろな文字で表記させ，考えさせる。 ○英語と比較させる。 言： 表音文字と表意文字の違いを理解している。 （発表） ○具体的な漢字について調べるために，漢和辞典を活用させる。
	第 2 時	解 を 深 め る	○教材文を読み「万葉仮名」の特徴を理解する。 ・ 万葉仮名で書かれた歌をふつうの日本語表記にする。 ○教材文を読み，平仮名と片仮名がどのように作られたかを理解する。 ・ どのように作られたのか，なぞってみる。 ○教材文を読み，ローマ字の由来や特徴を理解する ・ 身のまわりからローマ字表記の言葉を見い出す。	○漢字を万葉仮名にして，使いやすくした日本人の工夫に目を向けさせる。 ○文字の由来や特徴について理解しやすいように，学習プリントやノートに整理させる。 言： 日本語の文字の由来や特徴を理解している。 （発表，ノート）
	第 3 時 ・ (本時)	交 流	○教材文を読み，平仮名と片仮名の使い方を理解し身のまわりから片仮名表記の言葉を見つけ，仲間分けをする。 ○漢字と仮名の組み合わせについて考える。 ・ 教材の例文の言葉を漢字，平仮名，片仮名，ローマ字に色分けする。 ・ 谷川俊太郎の「言葉遊び」の詩を漢字仮名混じり文にし，音読して原詩と比べる。 ○日本語の文字について学習した感想を書き，発表し合い，まとめをする。	○「ファミリーコンサート」の教材文や新聞記事などから選択し，漢字と仮名の使いわけを学習するきっかけとする。 ○それぞれに表記する理由やよさに目を向けさせる。 言： 日本語の文字を適切に使い分けている。 （発表，ノート）

● 本時の展開（本時 3 / 3）

目 標

- ・ 日常生活の中で，それぞれの文字がどのように用いられているか認識できる。
- ・ 四種の日本語の文字を正しく使い分け，自分の言語生活を豊かにしようとする。

○ 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価・支援
1，本時のめあてを確認する。 日本語の文字はどんなふうに使分けたらよいのか考えよう。 ○教材の新聞記事「ファミリーコンサート…」を読み，色分けする。 漢字（黒） 平仮名（赤） 片仮名（青） ローマ字（緑） ○気づいたこと，わかったことを発表し合う。 ・それぞれの文字の出現頻度 ・それぞれの文字の使われ方 ・使い分けて表記するよさ 2，平仮名と片仮名の使い分けを知る。 外来語 ・外国の言葉：日本語に置き換える ・外国から入ってきた物や文化 ・外国の地名や人名 ・ローマ字のふりがな 擬声語（泣き声，物の音） 動植物の名前 強調したい時 3，「漢字と仮名の組み合わせ」の解説文を読み，漢字表記のよさを理解する。 漢字は見ただけで何かがわかる。 言葉の区切りがわかり，読みやすくなる。 ア はははははい イ Ô ò ò Ô ○谷川俊太郎の「言葉遊びの歌」詩を「漢字・仮名混じり文」に直して音読する。 ・いるか ・かっぱ ・ののはな ・ことこ ・うそつき ・つつき	○いきなり教科書の解説文を読まず，教科書の例文や新聞記事等を教材として使い，学習意欲や関心を高めるようにしたい。 ○自由発表から，観点ごとに整理させる。 ○新聞記事の片仮名表記を分類させる。 ・「カラクリ」と片仮名表記していることに注意させる。 ・どんな言葉を片仮名表記してきたか思い出させる。 ○解説文（「平仮名と片仮名の使い分け」）を読み，片仮名表記の原則を確認する。 ○問題をとくことで，解説してあることを確かめる。 ○グループで好きな詩を選び，漢字仮名混じり文に直して，暗唱する。	意：色分けから，使い分けの効果を見いだそうとしている。（作業，発表） ○具体的な表記の仕方を確かめ，四種の文字が効果的に使われていることに気づかせる。 言：片仮名表記のきまりを理解し，片仮名表記の言葉を分類している。（発表，ノート） ○日常生活から片仮名表記の言葉を見つけるよう，生活場面を想起させる。 言：漢字と仮名を組み合わせで使うよさを理解し，適切に使い分けている。（発表，ノート） ○音読しにくい平仮名表記の詩も，漢字と仮名混じり詩にすると読みやすくなることで，その効果を理解させる。

4,「日本語の文字」を学習した感想を書き,発表し合いながらまとめるをする。 ・初めて知ったことや驚き。 ・日本語の文字の由来や特徴を知って考えたこと。 ・これまでの言語生活のふりかえり。 ・もっと調べてみたいこと。	○400字以内にまとめる。 ○これらの観点から2つ程度を選択して書き,発表する。 ○調べ学習や総合的な学習へと広げていく。	関・態: 学習の感想をまとめ,発表し合いながら,日本語の文字についてまとめようとしている。 (ノート,話し合い,) ○これまでのノートや学習プリントを活用してまとめられるよう個別に支援する。
---	--	---

●「総合的な学習の時間(国際理解・自国文化理解)」や個々人の「調べ学習」へと発展させたい内容。

1,「日本語の文字辞典」を作ろう。

○小学校で学習した漢字について,その起源や成り立ちを調べてまとめる活動。

- ・象形,指事,会意,形成,転注,仮借,国字に分類する活動。
- ・基本的な象形文字や指事文字の成り立ちを調べる活動。
- ・会意文字の意味を調べる活動。
- ・日本語の文字の七割以上を占める形成文字の意味と読み方について,まとめる活動。

○平仮名,片仮名,ローマ字の由来や使われ方を,掘り下げて調べまとめる活動。

- ・もともになった漢字をどのように工夫して,平仮名,片仮名にしたのかを五十音図にまとめる。
- ・日常よく使われている外来語はどこからきたのかを調べる活動。
- ・ローマ字表記がどんなところにどのように使われているか,絵や写真でまとめる。
- ・「言葉遊び歌」を創作する(詩で,回文で,早口言葉で)活動。

○小学校で学習した漢字について,四つの特性をたしかめる活動。

- ・音訓,筆順,画数,部首,使い方について特徴的なもの(間違いやすい漢字)を「漢字カード」にまとめる活動。

2,自分に身近な漢字などの文字について,その成り立ちや意味,使われ方を調べる活動。

- ・自分や家族の名前,ふるさとの地名,好きな漢字など。

3,その他日本語の文字や使われ方にかかわる活動

- ・四文字熟語 ・ことわざ ・本来の意味と間違えて使われるようになった言葉やことわざ
- ・手話の文字 ・方言と共通語辞典づくり ・「いろはがるた」の意味を調べる ・...

●学習プリント等の参考資料

1, 四つの文字について, 次のことを整理しましょう。

ローマ字	片仮名	平仮名	万葉仮名	漢 字	
					表音
					表意
					由 来 や 成 り た ち
					特 徴

2 , 漢字の由来をまとめましょう。

漢字のでき方	解 説	漢 字				
文字						
文字						
文字						
文字						

3 , カタカナで書くことばの仲間分けをしましょう。

外 来 語	外国の言葉	
	外国からきた物や文化	
	外国の地名や人名	
擬 声 語	物音	
	声	
動植物の名前		
そ の 他		

4 , 漢字と仮名を組み合わせるよさをまとめましょう。
